

# 歴

## 史民俗資料館だより

No.36  
文化生涯学習課  
資料館係 (☎ 58-5111・75-3111 代表)

### まかべじんやあと 真壁陣屋跡

### 発掘調査成果 その三

前回の資料館だよりで少し触れましたが、真壁陣屋跡で発掘した古墳からは、たくさんのお墓輪が出土しました。これらのお墓輪は長い時間の中でバラバラに砕けてしまい、見つけたときには小さな破片になっていました。それを丁寧に洗い、一つ一つくっつけていきました。非常に地道な作業を繰り返して、ようやくいくつものお墓輪が元の形に分かるようになってきました。ほとんどのお墓輪は円筒お墓輪という筒型のもので、胴体に3本の帯状の部分を持ち、丸い窓が開いています。



真壁陣屋跡の古墳から出土した円筒お墓輪

それ以外にも数は少ないですが、人物や道具をかたどった形象お墓輪と呼ばれるものもありました。特に今回は人物お墓輪が見つかっており、全体の形が分かるものは残念ながらありませんが、顔や手などが発見されました。左の写真は、その中の人物の顔の部分です。向かって右側の目が一部残っており、鼻や口の部分もあります。頬などに赤く染められた場所があり、おそらく古代の人の化粧を表していると思われる。



真壁陣屋跡の古墳から出土した人物お墓輪の顔の部分

### 歴史文化講座(第3回)

#### 真壁陣屋跡の発掘成果

第3回目の歴史文化講座は、江戸時代の真壁藩・笠間藩の役所であった真壁陣屋の歴史と発掘成果をお話しします。

平成21年8月の発掘説明会からこれまで、出土品の年代や生産地などの調査を進めた結果、笠間藩時代の陣屋のくらしづくり、大都市・江戸との関係などが分かってきました。

発掘された真壁陣屋跡は保存のために埋め戻され、桜川市真壁町で建設されている(仮称)多目的複合施設周辺の地下にも埋まっています。

江戸初期、浅野長政の三男・長重が開設した真壁陣屋。後に江戸幕府重臣の牧野氏によって再建された姿と出土品の数々を紹介いたします。

また、今回の講座では、お話だけでなく、出土品の中から貴重

重品を選び、展示・解説も予定しています。

■開催日／平成23年2月12日(土)

■場所／社会体育研修センター(真壁第一体育館となり)

■時間／13時30分～15時

■講師／文化生涯学習課職員

■参加費／無料

■定員／先着30人

■問合せ・申込先／文化生涯学習課 資料館係 (☎ 58-5111・75-3111、内線3224)

■内容／真壁陣屋跡の歴史と発掘成果および出土品の解説



400年前から続く城下町の町割が残る真壁の町並み

**運転免許** 18歳限定特別キャンペーン実施中  
(1月1日～4月1日生まれの方も入校予約で適用)

12月28日までに入校された方  
**特別価格**で免許取得を応援!  
お問い合わせ

土、日OK、夜8時まで教習、  
送迎バスあり(無料)、  
ローンあり

公認 **明野自動車学校** ☎0296 (52) 2811  
ホームページ <http://www.areaguide.jp/akenods/>

**古橋伸夫税理士事務所**  
TKC

～お客さまに豊かさで繁栄を～

桜川市真壁町桜井765-2  
**TEL 0296-54-1540**